

若手弁理士の活動報告の掲載について

パテント編集委員会

副委員長 田 中 勲

野上 晃、齋藤 康

近藤 祐司、岩田 啓

パテント誌 2007 年 4 月号では、比較的登録年数の浅い若手弁理士の論文等を多く掲載するといった、これまでには恐らくなかったであろう試みに挑戦してみました。

若手弁理士の中には、自らの知見を高めるべく、あるいは知財業界の発展のために、日頃よりベテラン弁理士に負けず劣らず種々の研究活動に励んでいる方も少なくありません。しかしながら、このような活動は外部からはあまり知ることができず、その成果は埋もれたままになりがちです。特に、若手弁理士においてはその経験の少なさから研究成果の発表などに尻込みしてしまうこともあるのではないかと考えられます。そこで、パテント編集委員会（本号担当）では、日頃から研究等の活動をされている若手弁理士に、その成果をパテント誌上で報告していただく機会を提供しました。経験豊富な方々から見れば、あるいは検討不足といった側面もあるかもしれませんが、上述した埋もれがちな活動成果がその一部分だけでも陽の目を見、多くの業界関係者の目に留まることで、更なる研究活動の活発化の一助になれば幸いです。

以上